

第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

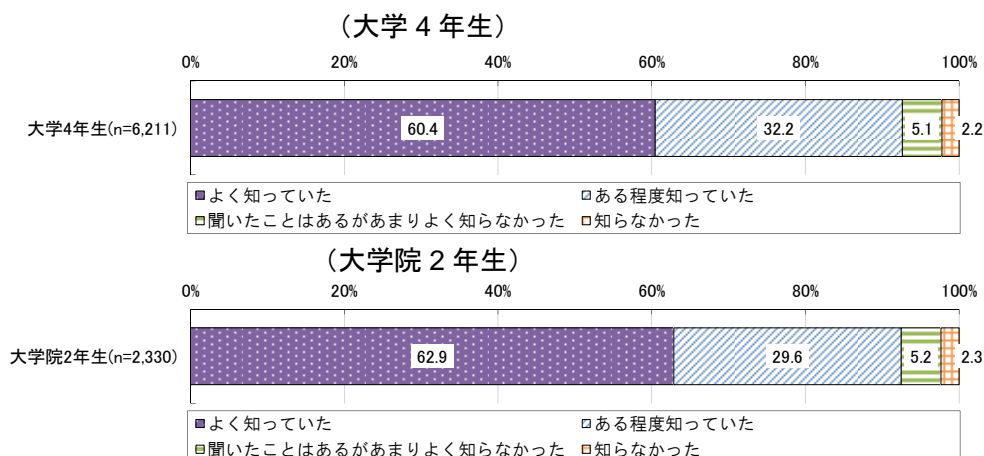
(1) 就職活動時期に関する認知の状況

① 就職活動時期に関する認知度

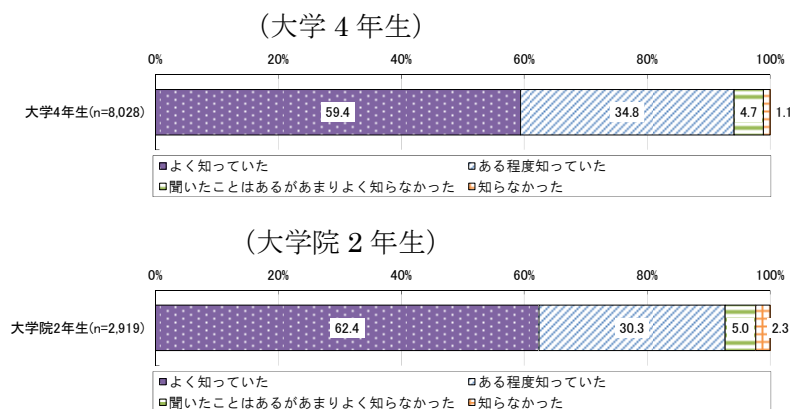
就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて知っていたかをたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「よく知っていた」との回答は6割以上となっており、「ある程度知っていた」の回答との合計は9割以上になっている（図表2-1-1）。

なお、平成28年度調査において就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問への回答結果と比較すると（図表2-1-2）、大学4年生・大学院2年生ともに、平成28年度調査と今年度調査とではほぼ同様の結果となっている¹¹。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度



図表 2-1-2 【参考・平成28年度調査】就職活動時期変更に関する認知度



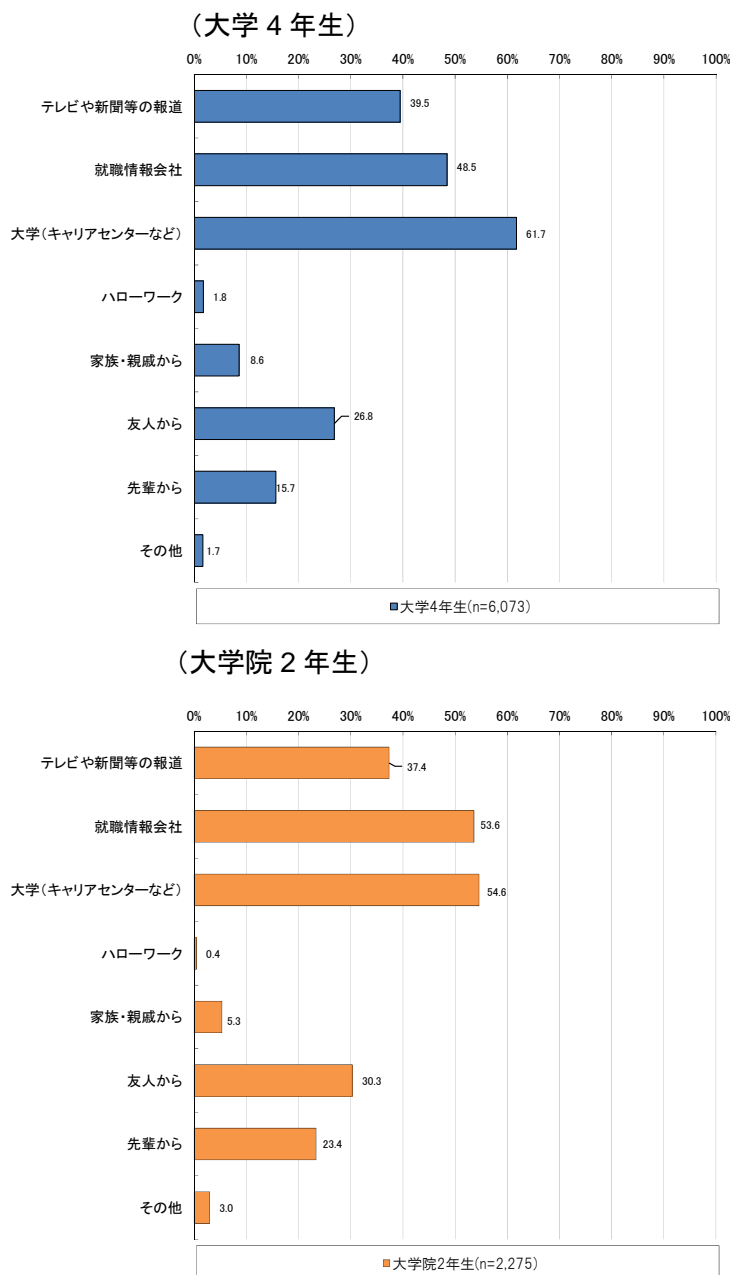
¹¹ 平成28年度調査・今年度調査ともに、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。

②就職活動の時期に関する情報源

どのようなルートで就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかをたずねたところ¹²、大学4年生・大学院2年生ともに、「大学（キャリアセンターなど）」の回答が5割以上と最も高く、次いで「就職情報会社」の割合が高くなっている（図表2-1-3）。

なお、平成28年度調査において就職活動時期変更に関する情報をどのようなルートで知ったかをたずねた設問への回答結果と比較すると（図表2-1-4）、今年度調査においては、大学4年生・大学院2年生ともに、「テレビや新聞等の報道」の割合が低く、「大学（キャリアセンターなど）」の割合が高くなっている。

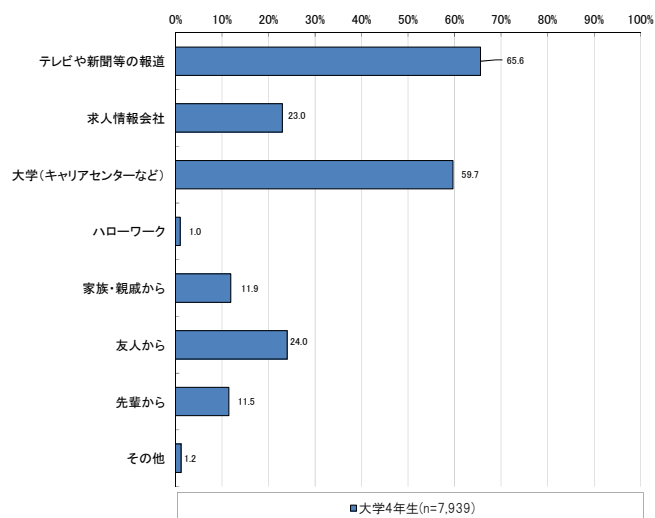
図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報源（複数回答）



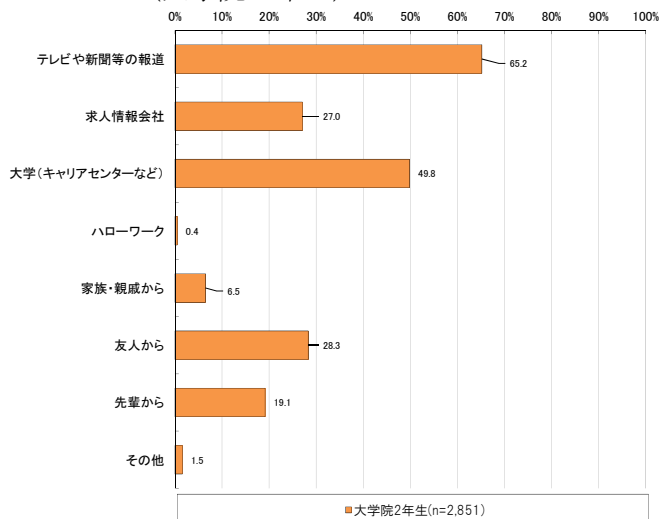
¹² 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答したものは集計の対象外とした。

図表 2-1-4 【参考・平成 28 年度調査】就職活動時期変更に関する情報源（複数回答）

(大学 4 年生)



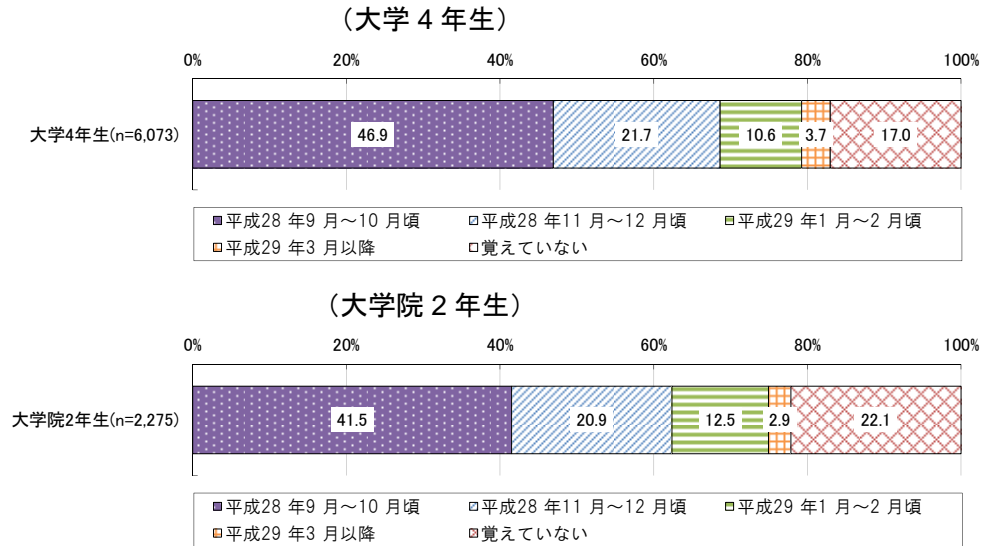
(大学院 2 年生)



③就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかをたずねたところ¹³、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年9月～10月頃」の割合が最も高く、4割以上となっている（図表2-1-5）。

図表 2-1-5 就職活動時期に関する情報を知った時期



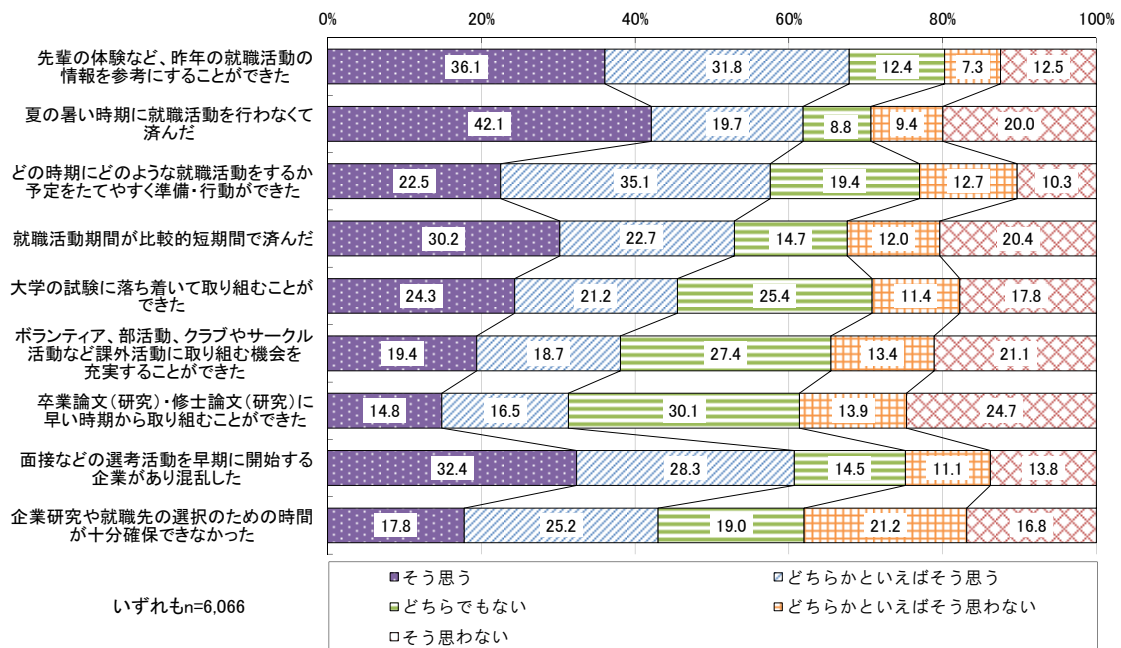
¹³ 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答したものは集計の対象外とした。

(2) 就職活動時期に関する認識

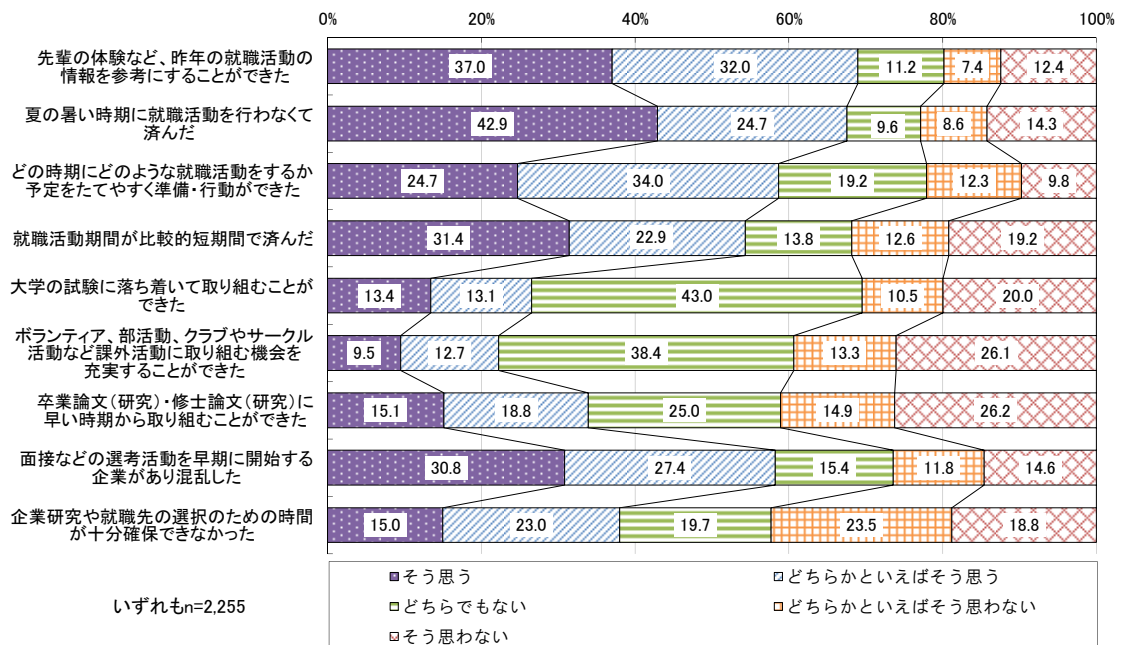
就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについてどのように思ったかをたずねた。

大学4年生・大学院2年生ともに、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」などの点で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が比較的高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様の回答割合が高かった（図表2-2-1、図表2-2-2）。

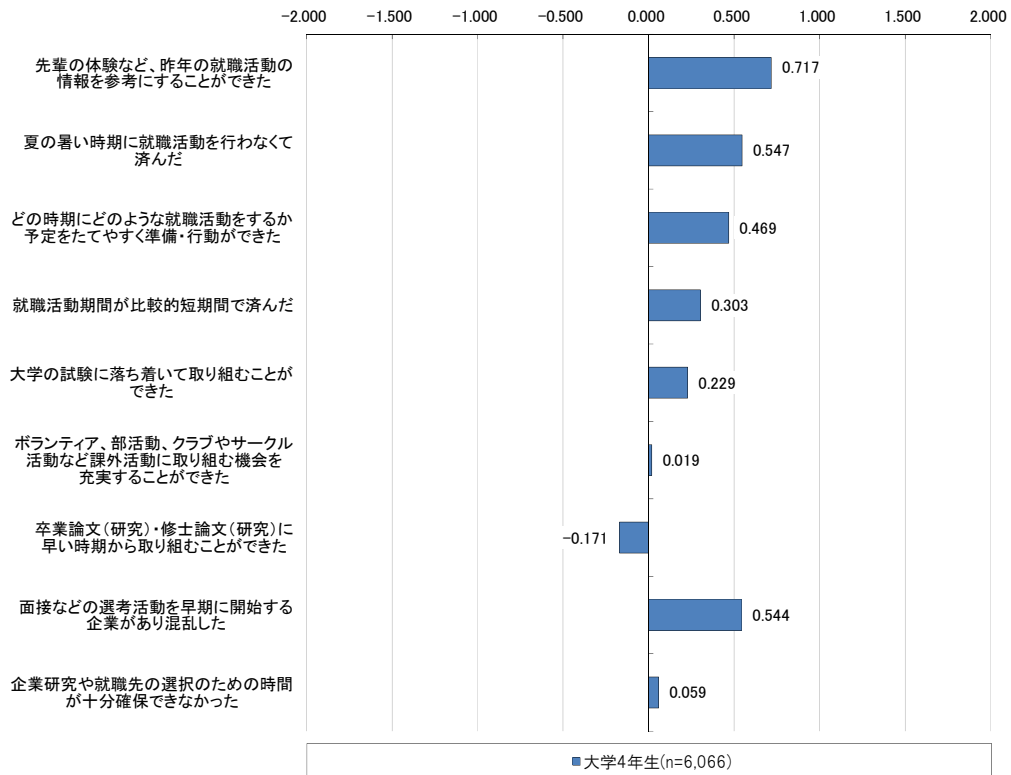
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識
(大学4年生)



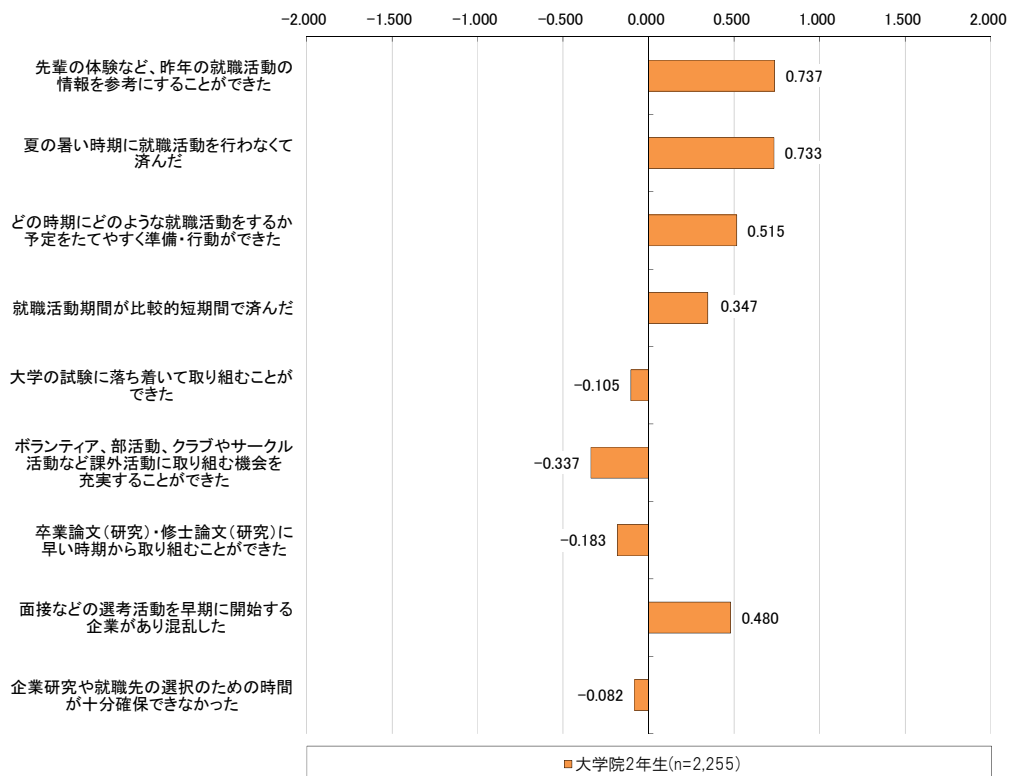
(大学院2年生)



図表 2-2-2 就職活動時期に関する認識（得点化による集計）¹⁴
 （大学4年生）



（大学院2年生）



¹⁴ それぞれの設問について、「そう思う」を2点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「どちらかといえばそう思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点として、平均値を算出した。

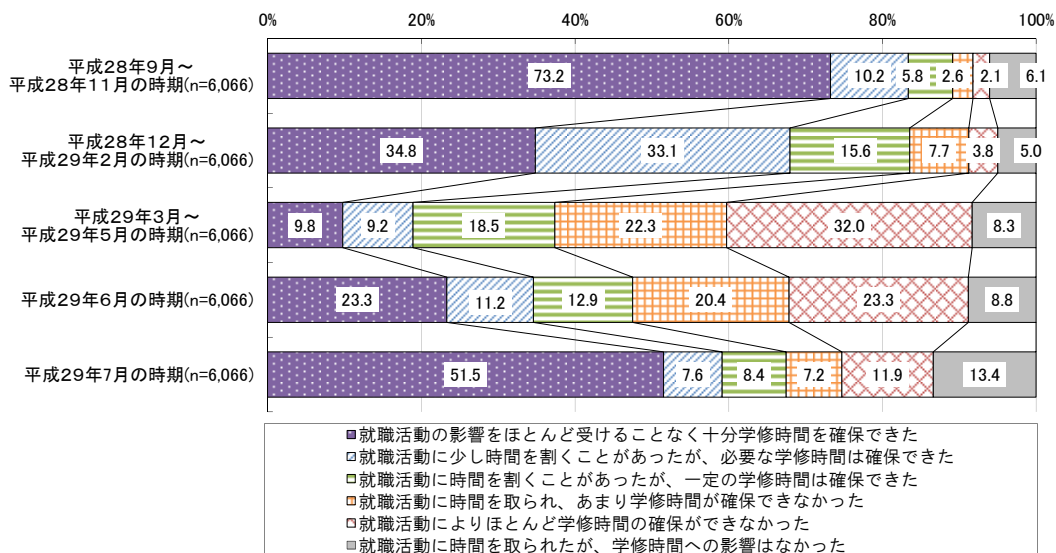
(3) 就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、平成28年9月以降の状況をたずねた（図表2-3-1）。

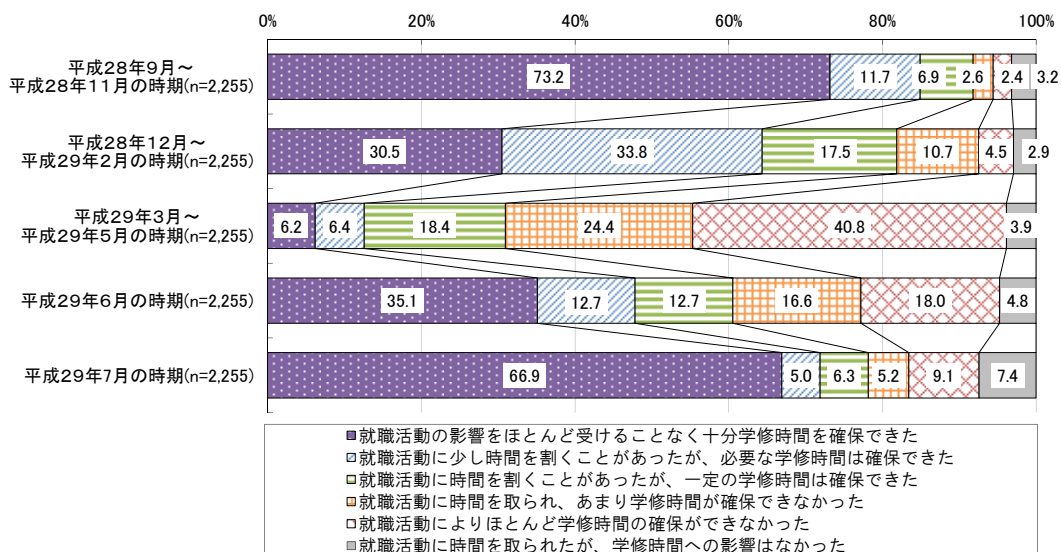
「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3～5月の時期には4割以下にまで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は大学4年生で約5割、大学院2年生で約6割、7月はそれぞれ約7割・約8割まで高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた平成27年度調査と比較すると（図表2-3-3、図表2-3-4）、今年度調査は平成28年度調査と同様に、6月・7月の時期に学修時間が確保できたと回答した割合が2倍程度の時期もあるなど高くなっている。また、平成28年度調査と比較すると（図表2-3-2、図表2-3-4）、3月以降の時期は今年度調査のほうが高くなっている。

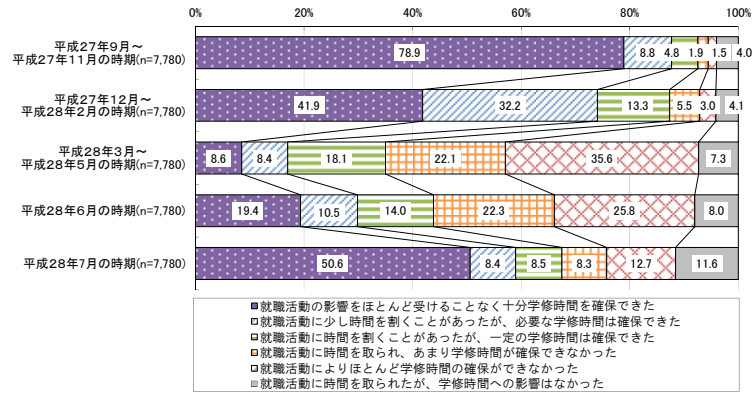
図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況
(大学4年生)



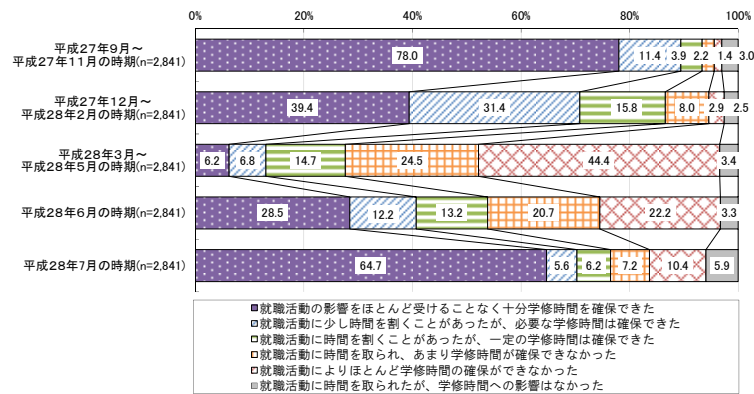
(大学院2年生)



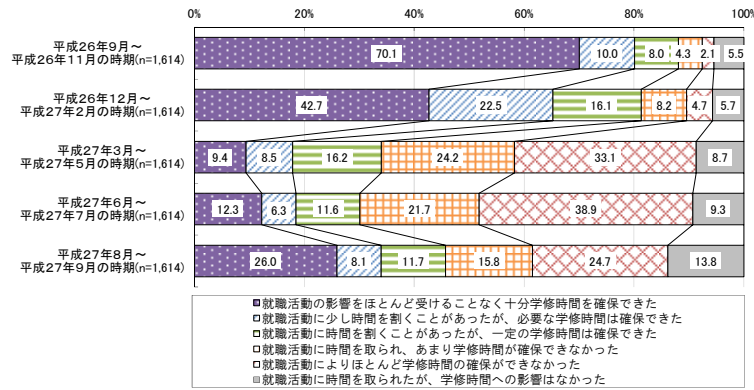
図表 2-3-2 【参考・平成 28 年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況
(大学 4 年生)



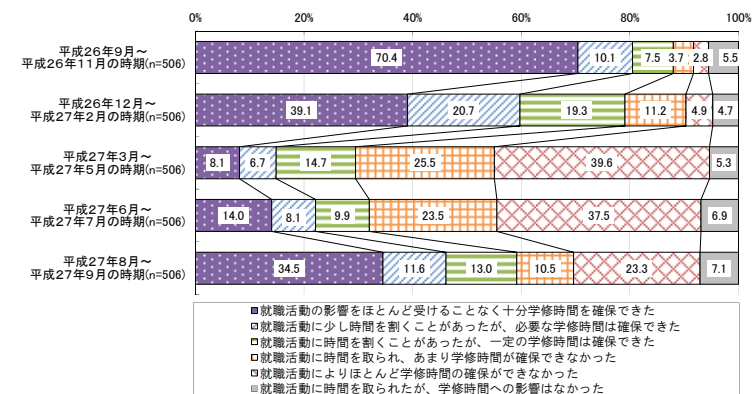
(大学院 2 年生)



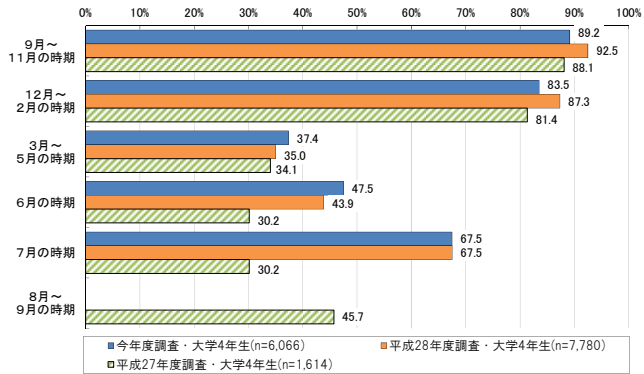
図表 2-3-3 【参考・平成 27 年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況
(大学 4 年生)



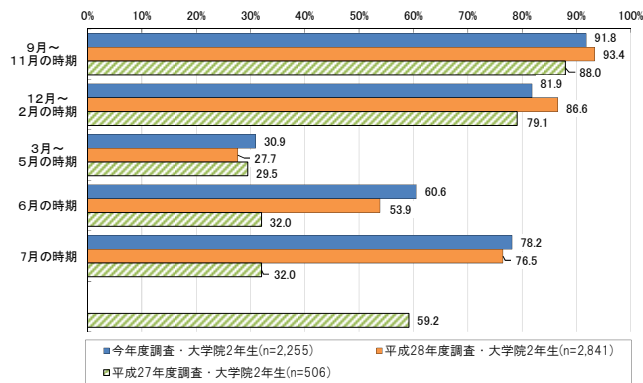
(大学院 2 年生)



図表 2-3-4 【参考・過年度調査との比較】 就職活動と学修時間確保の状況
(大学4年生)



(大学院2年生)



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

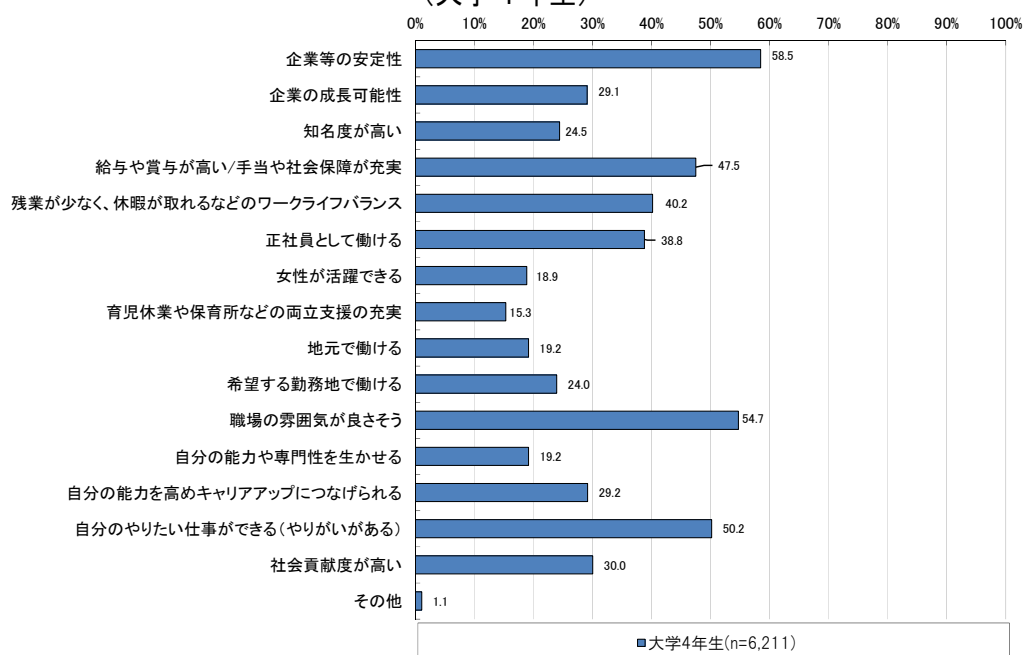
※「6月の時期」「7月の時期」は、平成27年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

(4) 就職先を決めるにあたって重視していること

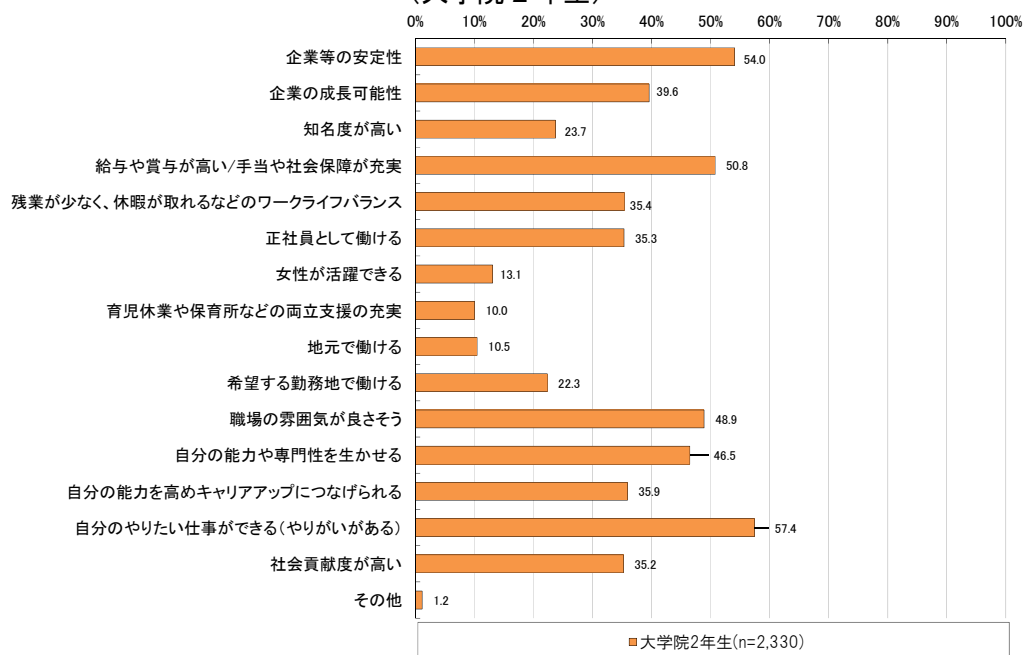
就職先を決めるにあたって重視していることをたずねたところ¹⁵、大学4年生では「企業等の安定性」の回答が最も高く、次いで「職場の雰囲気が良さそう」の割合が高くなっている（図表 2-4-1）。大学院2年生では、「自分のやりたい仕事ができる（やりがいがある）」の回答が最も高く、次いで「企業等の安定性」の割合が高くなっている（図表 2-4-1）。

なお、大学4年生と大学院2年生とを比較すると、「企業の成長可能性」や「自分の能力や専門性を生かせる」等の点で大学院2年生の回答割合が高くなっている。

図表 2-4-1 就職先を決めるにあたって重視していること（複数回答）
(大学4年生)



(大学院2年生)



¹⁵ 「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。